

ふじっこメート



令和7年冬号

あけましておめでとうございます

皆様におかれましては佳き新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

ファミリー・サポート・センターは、富士吉田の子どもたちと保護者の方々のお力になれるよう、より一層頑張りますので、昨年同様ファミサポにご理解ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



富士吉田市ファミリー・サポート・センター



☎0555-22-1111(内線 580) ☎090-4714-3737

センターにお越しになる際、事前にご連絡いただくとお待たせすることなく対応できます！



会員のみなさまへ

日頃よりファミリー・サポート・センターの活動にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、会員の皆様に活動をする上でのお願いです。

ファミリー・サポート・センターには定められた規定があり、安心安全かつ公平公正に活動するためには規定を守り活動していただく必要があります。事件や事故などがあった場合に会員の皆様を守るため、ルールの中で活動してください。



①援助活動について

依頼会員は顔合わせ時の内容と異なる援助が必要になった場合には、センターへご相談ください。センターから関係機関への連絡や協力会員の紹介、保護者からの紹介カード提出など調整を行います。

協力会員はセンターからお願いした活動や顔合わせ時の内容から逸脱する援助依頼が入った場合は承諾する前に、センターへご相談ください。

援助活動は協力会員と依頼会員の信頼関係があって成立します。その関係性に甘え、油断や過度な依存が起きることは重大な過失につながる恐れがあります。

援助活動には「できること」「できないこと」がありますので、個人で判断せず必ずセンターを仲介するようにしてください。

②守秘義務について

会員の皆様には「守秘義務」があります。

活動上知り得た会員についての個人情報、他の人に話すことは禁じられています。活動や会員の状況について、会員間で直接の情報共有はせず、必要な場合はセンターを仲介してください。状況によりグループでサポート体制をとるなど、センターで取りまとめます。

個人情報とは、住所・電話番号・ライン・勤務先・家族構成・お子さんの病歴や特性・就学先・就園先・生年月日・家庭の事情など、個人に関わる諸々の情報です。

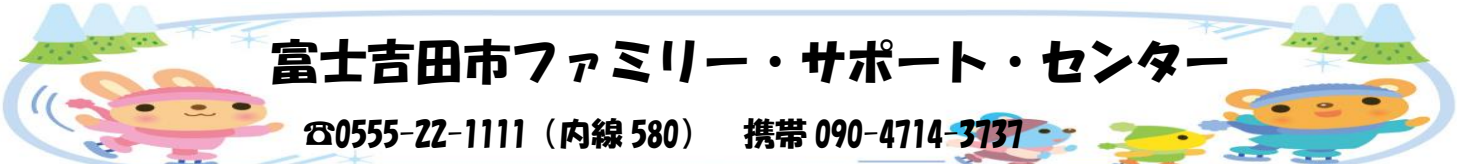
守秘義務については、退会後も同様ですので、ご注意ください。



ファミリー・サポート・センターは、困っているお父さん、お母さんの子育てを助けていただく協力会員があって、運営することができています。また、会員のみなさまのセンターへのご理解ご協力で支えられています。心より感謝申し上げます。

援助活動がどなたにとっても公平に、そして安心・安全・円滑に行えるよう、引き続き会員のみなさまからご理解ご協力をいただきたくお願いいたします。

今後もみなさまのお気持ちに寄り添えるよう誠心誠意業務に取り組みます。



富士吉田市ファミリー・サポート・センター

☎0555-22-1111（内線 580）

携帯 090-4714-3737

お知らせします！



* 規定報酬額(利用料)の助成を受けるには…

⇒ 「協力会員を指定する委任状が必要です。」

- ・協力会員お一人に対して委任状を一枚提出してください。
 - ・複数の協力会員に援助をお願いする場合は、協力会員ごとに委任状が必要です。
 - ・ご夫婦で協力会員の活動をされている方への委任は、各々を指定する委任状を作成してください。
 - ・年度が替わると新たに委任状の提出が必要です。
 - * 協力会員に助成の手続きを委任せず、依頼会員自らが利用料の助成を市に請求される場合には委任状は不要です。
- 援助活動利用時に依頼会員が協力会員に規定報酬額(利用料)の全額をお支払いください。



* 登録内容の変更には…

⇒ 「変更届が必要です。」

- ・住所変更、子どもの追加(出生)や保育施設入所や小学校進学等、登録内容に変更がある場合はセンターにお申し出ください。返信用封筒とともに変更届を送ります。
- ・書類(変更届)がお手元に届いたら変更事項を記入し同封の返信用封筒で郵送、もしくは、センターまでお持ちください。

お子さんが4月から
・保育園・幼稚園に入園する
・小学校に上がる
・放課後児童クラブに入所(退所)



* 手続きについて…



- ① 来年度も引き続き助成を利用するために、来年度の委任状を顔合わせやセンター来所の方には記入いただくようになっています。
- ② 今年度利用のあった会員さんには、来年度用の委任状を3月に郵送します。
お手元に届いたら必要に応じて記入し、同封の返信用封筒で送付されるか、センターまでお持ちください。センターにお越しいただければ、一緒に作成します。

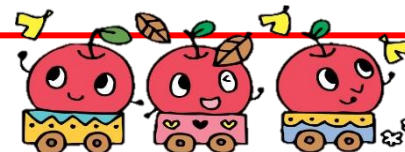


* 利用するには…

⇒ 「援助活動依頼の報告が必要です。」

- * センターに報告がない場合は、助成金対象外! 補償保険対象外!
- * センターへの報告は、来所・電話・ファックス・インターネット、様々な連絡手段があります。

24時間365日、お手元の携帯電話からいつでも連絡できる
「報告フォーム」をぜひご利用ください→



富士吉田市ファミリー・サポート・センター

TEL: 0555-22-1111 (内線580) 携帯: 090-4714-3737

～おかけ間違いのないようお願いします～

軽度病児お預かりの確認とお願い！



気温が下がり空気が乾燥しています。
例年、風邪やインフルエンザ、ノロウイルス
などの感染症が流行しやすい時節です。
体調管理にお気を付けください！



ファミリー・サポート・センターでは、お子さんが軽度の病気や病気の回復期に
お子さんを預けることができます⇒「軽度病児の預かり」

「軽度病児預かり」の判断基準は、“お子さんに「病気の急性期の症状が残っている：軽度の咳・鼻水・下痢・嘔吐・（平熱以上の発熱⇒現在は利用不可）」、病気による服薬中か”
などです。この服薬には、花粉症等での体質的な服薬や体調を維持するための継続的服薬
は該当しません。

「軽度病児の預かり」は、医療機関へ受診後の利用をお願いします。

下記についてご確認ください。

- ・発熱等の症状がある場合は、活動を禁止しています。
- ・保育施設で出席停止扱いとなる病気は利用できません。
- ・協力会員さんによる投薬は禁止されています。
- ・同居のご家族、お子さんがコロナ感染の場合は利用できません。

* 援助活動時間にお子さんの投薬時間が含まれる場合は医師にご相談ください。



インフルエンザによる学級閉鎖時の利用は、お子さん自身が発症していなくても保菌状態
または発症前のタイミングである可能性があります。協力会員さんへ活動依頼する場合には、
必ず状況を報告した上で活動に協力いただけるか判断を仰いでください。

利用料は、1時間あたりの規定の金額の **100円増し** です。

富士吉田市ファミリー・サポート・センター

☎0555-22-1111(内線 580) ☎090-4714-3737

～おかけ間違いのないようお願いします～

判断に迷うときに
センターに
ご相談ください。

換気・手洗い・消毒
マスクの着用など



感染予防のため基本的な感染症対策をお願いします！



あけましておめでとうございます

新しい1年がスタートしました。今年はどんな年になるのでしょうか。お便りを通じて、皆様が、健康で元気いっぱいにお過ごしお手伝いをしていきます。今年もよろしくお願いします。

呼吸器系の感染症（新型コロナウイルス、マイコプラズマ、インフルエンザ）が流行しています。更には、季節外れの手足口病やりんご病（伝染性紅斑）も、まだまだ続いています。元気に見えても、昨夏の酷暑の影響を受けて、身体の免疫力は低下しています。引き続き、手洗い・うがいをしっかり行い、体調の変化がある時には早めの休息を心がけましょう！

また、心配な時は受診しましょう。

すでに、高熱の患者さんが増えてきています

インフルエンザが はやっていきます！

くしゃみ、せきなどの症状のほかに、高熱と頭痛が急激に現れたら、インフルエンザかもしれません。潜伏期間が1～3日と短く、感染力が強いので注意が必要です。早めの受診を！

症状

突然の高熱
(40℃前後)

頭痛

おう吐

のどの痛み

激しいせき

鼻水

かんせつづう
関節痛
筋肉痛

予防のために

- なるべく人込みを避ける
- 部屋の湿度は50～60%くらいに。こまめな換気を心がける
- 十分な睡眠、休養をとる
- バランスのよい食事、十分な水分補給を

心配な インフルエンザ脳症

インフルエンザの合併症で特に気をつけたいのがインフルエンザ脳症。特に0、1、2歳児は発症しやすく、後遺症が残ったり、重症化すると命を落としたりすることもあります。万が一のような症状が見られたら、すぐに救急車を呼んでください。

こんな症状は脳症かも？

- ☐ インフルエンザを発症して1～2日後に突然高熱が出る
- ☐ けいれんが10分以上続く
- ☐ けいれんを繰り返す
- ☐ 呼びかけても反応しない、ぼーっとしている、目がうつろである
- ☐ すっと寝続けている



冬のあせも・とびひに注意

あせもやとびひは夏だけではなくありません。最近は、厚着や暖房であたためすぎて、冬になる子も増えています。床暖房の部屋に寝かせたらあせもができた、という例もあります。冬の肌は寒さで血行がよくないため、湿しみが治りにくいといわれますので、早めに受診しましょう。

予防

- 厚着をさせない
- 室温の調節をこまめに
- 汗をかいたらふき、着替える
- 毎日入浴して肌を清潔に

小さい子は特に、背中にふれて汗をかいていないかまめにチェックしましょう

